

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（八幡平市の保育所）

園児95名、職員21名

ア 4月6日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月29日（木）から4月9日（月）にかけて、園児13名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	0	2	1	2	1	1	0	7
女	0	1	2	2	1	0	1	7
計	0	3	3	4	2	1	1	14

#### 2 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年4月9日	2	0	0	2
平成29年4月1日～ 平成29年4月9日	0 (31)	0 (5)	0 (12)	0 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年4月9日	0 (69)	2 (5)	0 (10)	2 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（軽米町の介護保険事業所）

利用者 15 名、職員 21 名

ア 4 月 9 日（月）に、当該施設及び利用者の受診先の医療機関から二戸保健所へ、複数名の利用者等が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、二戸保健所が調査を開始し、4 月 4 日（水）から 4 月 10 日（火）にかけて、利用者 10 名、職員 4 名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 入院患者 1 名含め、有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	利用者			職員			計
	70 歳代	80 歳代	90 歳代	20 歳代	40 歳代	50 歳代	
男	0	1	1	0	0	0	2
女	3 (1)	2	3	1	2	1	12 (1)
計	3 (1)	3	4	1	2	1	14 (1)

（ ）内は入院患者再掲

### 2 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者 4 名からノロウイルスを検出。

イ 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 二戸保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 4 月 10 日	3	0	0	3
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 10 日	0 (31)	0 (5)	0 (12)	0 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 4 月 10 日	0 (69)	2 (5)	0 (10)	2 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（滝沢市の保育所）

園児 132 名、職員 43 名

ア 4月17日（火）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月8日（日）から4月16日（月）にかけて、園児15名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	40歳代	
男	6	1	1	1	2	0	0	11
女	1	1	1	0	0	1	1	5
計	7	2	2	1	2	1	1	16

#### 2 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 4 月 19 日	5	0	0	5
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 19 日	1 (31)	0 (5)	0 (12)	1 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 4 月 19 日	4 (69)	3 (5)	0 (10)	7 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（二戸市内の保育所）

園児 78 名、職員 19 名

ア 4月24日（火）に、当該施設から二戸保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、二戸保健所が調査を開始し、4月14日（土）から4月24日（火）にかけて、園児10名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1	2	2	0	0	1	6
女	0	3	1	0	0	0	4
計	1	5	3	0	0	1	10

#### 2 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者9名からノロウイルスを検出。

イ 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 二戸保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 4 月 25 日	6	0	1	7
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 4 月 25 日	1 (31)	1 (5)	0 (12)	2 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 4 月 25 日	6 (69)	4 (5)	0 (10)	10 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 八幡平市内の小学校

##### (1) 施設の概要について

児童 386 名、職員 33 名

ア 4月26日（木）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の児童が嘔吐等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、4月25日（水）から5月1日（火）にかけて、児童33名に嘔吐・腹痛等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	児童（学年別）						計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
男	0	0	17	1	0	0	18
女	2	2	8	0	3	0	15
計	2	2	25	1	3	0	33

##### (2) 調査結果について

ア 県央保健所が実施した糞便検査の結果（検査機関：県環境保健研究センター）、有症者3名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 奥州市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 59 名、職員 34 名

ア 4月27日（金）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈し、医療機関を受診しノロウイルスの診断を受けた旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、4月24日（火）から4月28日（土）にかけて、園児14名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	1	3	0	1	0	1	6
女	2	1	1	0	1	0	8
計	3	4	1	1	1	4	14

##### (2) 調査結果について

ア 奥州保健所が実施した糞便検査の結果（検査機関：県環境保健研究センター）、有症者等3名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 5 月 1 日	8	0	1	9
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 5 月 1 日	2 (31)	2 (5)	1 (12)	5 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 5 月 1 日	6 (69)	4 (5)	1 (10)	11 (84)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- |   |
|---|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</p> <p>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。</p> <p>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</p> <p>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|---|

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（矢巾町内の保育所）

園児 29 名、職員 13 名

ア 5月9日（水）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、5月8日（火）から5月10日（木）にかけて、園児13名、職員6名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員				計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	50歳代	60歳代	
男	1	2	2	1	0	0	0	0	0	0	6
女	1	3	3	0	0	0	2	2	1	1	13
計	2	5	5	1	0	0	2	2	1	1	19

#### 2 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 5 月 11 日	9	0	1	10
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 5 月 11 日	2 (31)	2 (5)	2 (12)	6 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 5 月 11 日	6 (69)	4 (5)	1 (10)	11 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- |   |
|---|
| <p>① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。</p> <p>② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。</p> <p>③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。</p> <p>④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。</p> |
|---|

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（大船渡市内の保育所）

園児 124 名、職員 27 名

ア 5月11日（金）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、5月7日（月）から5月14日（月）にかけて、園児33名、職員7名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	40歳代	50歳代	
男	1	5	4	7	2	2	1	0	0	22
女	1	7	2	0	1	1	3	2	1	18
計	2	12	6	7	3	3	4	2	1	40

#### 2 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者9名からノロウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 5 月 14 日	10	0	1	11
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 5 月 14 日	2 (31)	2 (5)	2 (12)	6 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 5 月 14 日	6 (69)	4 (5)	1 (10)	11 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85℃以上・1 分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】



## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（大船渡市内の高等学校）

生徒 366 名、職員 81 名

ア 5月24日（木）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の生徒及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、5月19日（土）から5月25日（金）にかけて、生徒21名及び職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	生徒（学年別）			職員	計
	1年生	2年生	3年生	40歳代	
男	5	3	2	0	10
女	8	1	2	1	12
計	13	4	4	1	22

### 2 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 5 月 28 日	12	0	1	13
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 5 月 28 日	2 (31)	4 (5)	4 (12)	10 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 5 月 28 日	9 (69)	4 (5)	1 (10)	14 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85℃以上・1分間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（奥州市内の認定こども園）

園児 67 名、職員 27 名

ア 5月24日（木）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、奥州保健所が調査を開始し、5月22日（火）から5月27日（日）にかけて、園児18名及び職員3名に嘔吐等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	
男	0	0	5	1	7	0	0	0	13
女	0	2	0	0	2	1	2	1	8
計	0	2	5	1	9	1	2	1	21

### 2 調査結果について

ア 奥州保健所が実施した糞便検査の結果（検査機関：県環境保健研究センター）、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サボウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 5 月 29 日	13	0	1	14
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 5 月 29 日	3 (31)	4 (5)	4 (12)	11 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 5 月 29 日	9 (69)	4 (5)	1 (10)	14 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（陸前高田市内の保育所）

園児 58 名、職員 16 名

ア 5月28日（月）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、5月23日（水）から5月29日（火）にかけて、園児9名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				職員	計
	0-1 歳児	2 歳児	3-4 歳児	4-5 歳児	50 歳代	
男	4	0	1	0	0	5
女	1	0	1	2	1	5
計	5	0	2	2	1	10

#### 2 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者等4名からノロウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 5 月 30 日	17	0	1	18
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 5 月 30 日	3 (31)	4 (5)	4 (12)	11 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 5 月 30 日	11 (69)	4 (5)	1 (10)	16 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 雫石町内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 96名、職員 23名

ア 5月30日（水）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、県央保健所が調査を開始し、5月26日（土）から6月2日（土）にかけて、園児17名、職員3名に嘔吐・腹痛等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						職員			計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	40歳代	
男	0	5	0	0	2	0	0	0	0	7
女	4	0	4	2	0	0	1	1	1	13
計	4	5	4	2	2	0	1	1	1	20

##### (2) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 陸前高田市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 74名、職員 19名

ア 5月31日（木）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、5月16日（水）から6月2日（土）にかけて、園児18名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	50歳代	
男	1	0	0	1	1	6	0	9
女	0	0	0	2	0	7	1	10
計	1	0	0	3	1	13	1	19

##### (2) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】 (盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 4 日	21	0	1	22
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 4 日	4 (31)	5 (5)	5 (12)	14 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 4 日	12 (69)	4 (5)	1 (10)	17 (84)

・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（山田町内の保育所）

園児 55名、職員 14名

- (1) 6月4日（月）に、当該施設から宮古保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、宮古保健所が調査を開始し、5月19日（土）から6月3日（日）にかけて、園児13名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	0	2	1	3	0	1	7
女	0	2	0	1	3	0	6
計	0	4	1	4	3	1	13

### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。
- (2) 宮古保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 宮古保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年6月5日	24	0	1	25
平成29年4月1日～ 平成29年6月5日	4 (31)	5 (5)	5 (12)	14 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年6月5日	12 (69)	4 (5)	1 (10)	17 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（陸前高田市内の小学校）

児童120名、職員18名

- (1) 6月4日（月）に、陸前高田市教育委員会から大船渡保健所へ、複数名の児童が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 大船渡保健所が調査を開始し、5月30日（水）から6月7日（木）にかけて、児童11名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童（学年別）						計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
男	0	0	7	0	0	0	7
女	0	1	3	0	0	0	4
計	0	1	10	0	0	0	11

### 2 調査結果について

- (1) 県環境保健研究センターが実施したが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年6月7日	26	0	1	27
平成29年4月1日～ 平成29年6月7日	5 (31)	5 (5)	5 (12)	15 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年6月7日	12 (69)	4 (5)	1 (10)	17 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（花巻市内の小学校）

児童122名、職員18名

- (1) 6月6日（水）に、花巻市教育委員会から中部保健所へ、複数名の児童が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、5月21日（月）から6月7日（木）にかけて、児童18名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童（学年別）						計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
男	1	1	0	2	3	0	7
女	4	4	0	2	0	1	11
計	5	5	0	4	3	1	18

### 2 調査結果について

- (1) 県環境保健研究センターが実施したが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年6月8日	27	0	1	28
平成29年4月1日～ 平成29年6月8日	6 (31)	5 (5)	5 (12)	16 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年6月8日	12 (69)	4 (5)	1 (10)	17 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】



## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（矢巾町内の保育所）

園児 166 名、職員 49 名

- (1) 6月8日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、6月1日（金）から6月12日（火）にかけて、園児20名、職員4名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	
男	0	4	0	0	1	1	0	0	6
女	1	3	2	1	3	4	2	2	18
計	1	7	2	1	4	5	2	2	24

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 12 日	28	0	1	29
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 12 日	6 (31)	5 (5)	5 (12)	16 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 12 日	12 (69)	4 (5)	1 (10)	17 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（陸前高田市内の小学校）

児童66名、職員14名

- (1) 6月13日（水）に、陸前高田市教育委員会から大船渡保健所へ、複数名の児童及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、5月30日（水）から6月12日（火）にかけて、児童16名、職員1名に嘔吐・腹痛等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童（学年別）						職員	計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	50歳代	
男	1	0	1	1	2	0	0	5
女	1	3	4	1	2	0	1	12
計	2	3	5	2	4	0	1	17

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者7名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年6月18日	30	0	1	31
平成29年4月1日～ 平成29年6月18日	12 (31)	5 (5)	6 (12)	23 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年6月18日	15 (69)	4 (5)	2 (10)	21 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（陸前高田市内の保育所）

園児 106 名、職員 22 名

- (1) 6月14日（木）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、6月8日（金）から6月19日（火）にかけて、園児31名、職員12名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員				計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	
男	2	2	2	1	6	5	0	0	0	0	18
女	0	2	1	2	5	3	1	5	1	5	25
計	2	4	3	3	11	8	1	5	1	5	43

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者8名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 6 月 19 日	31	0	1	32
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 19 日	12 (31)	5 (5)	6 (12)	23 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 6 月 19 日	15 (69)	4 (5)	2 (10)	21 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（陸前高田市内の小学校）

児童151名、職員20名

- (1) 6月15日（金）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の児童及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 大船渡保健所が調査を開始し、5月24日（木）から6月19日（火）にかけて、児童33名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童（学年別）						職員	計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	40歳代	
男	5	1	7	2	3	2	1	21
女	3	3	3	1	2	1	0	13
計	8	4	10	3	5	3	1	34

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者1名からノロウイルスを検出。
- (2) 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年6月20日	33	0	1	34
平成29年4月1日～ 平成29年6月20日	12 (31)	5 (5)	6 (12)	23 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年6月20日	16 (69)	4 (5)	2 (10)	22 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 北上市内の小学校

##### (1) 施設の概要について

児童 320名、職員 28名

ア 6月27日（水）に、県教育委員会から医療政策室を経由して中部保健所へ、複数名の児童が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、6月14日（木）から6月28日（木）にかけて、児童55名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	児童（学年別）						職員	計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
男	6	7	8	3	4	2	0	30
女	5	8	4	2	5	1	1	26
計	11	15	12	5	9	3	1	56

##### (2) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 北上市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 144名、職員 40名

ア 6月28日（木）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、6月22日（金）から6月29日（金）にかけて、園児23名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	0	1	2	5	5	2	0	15
女	0	2	0	2	0	4	2	10
計	0	3	2	7	5	6	2	25

##### (2) 調査結果について

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者4名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 3 遠野市内の保育所

#### (1) 施設の概要について

園児 32 名、職員 13 名

ア 6月29日（金）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、6月19日（火）から6月29日（金）にかけて、園児10名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	0	3	1	0	1	0	6
女	1	1	1	0	0	1	2	6
計	2	1	4	1	0	2	2	12

#### (2) 調査結果について

ア 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年7月2日	36	0	1	37
平成29年4月1日～ 平成29年7月2日	13 (31)	5 (5)	7 (12)	25 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年7月2日	16 (69)	4 (5)	3 (10)	23 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（一関市内のこども園）

園児 240 名、職員 33 名

- (1) 6月29日（金）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、6月25日（月）から7月6日（金）にかけて、園児31名、職員4名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児3名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	50歳代	
男	1	13	4 (2)	0	1	1	0	0	20 (2)
女	1	4 (1)	3	0	2	1	3	1	15 (1)
計	2	17 (1)	7 (2)	0	3	2	3	1	35 (3)

（ ）内は入院患者再掲

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センター及び医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者13名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 7 月 10 日	38	0	1	39
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 7 月 10 日	14 (31)	5 (5)	7 (12)	26 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 7 月 10 日	16 (69)	4 (5)	3 (10)	23 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（久慈市内の保育所）

園児 85 名、職員 24 名

- (1) 7月10日（火）に、当該施設から久慈保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、久慈保健所が調査を開始し、7月3日（火）から7月13日（金）にかけて、園児22名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	40歳代	50歳代	
男	3	1	0	2	4	2	0	0	12
女	0	1	2	2	4	1	1	1	12
計	3	2	2	4	8	3	1	1	24

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からサポウイルスを検出。
- (2) 久慈保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 久慈保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 7 月 17 日	38	0	2	40
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 7 月 17 日	14 (31)	5 (5)	8 (12)	27 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 7 月 17 日	16 (69)	4 (5)	4 (10)	24 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】



## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（大槌町内の義務教育学校）

生徒617名、職員64名

- (1) 9月7日（金）に、大槌町学校給食センターから釜石保健所へ、複数名の児童が嘔吐の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、釜石保健所が調査を開始し、9月5日（水）から9月12日（水）にかけて、児童等18名、職員2名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童等（学年別）									職員		計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生	30歳代	40歳代	
男	7	1	0	1	3	0	1	0	0	1	0	14
女	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
計	12	1	0	1	3	0	1	0	0	1	1	20

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 釜石保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 釜石保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年9月14日	40	0	3	43
平成29年4月1日～ 平成29年9月14日	17 (31)	5 (5)	9 (12)	31 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年9月14日	17 (69)	4 (5)	4 (10)	25 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、サポウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（北上市内の保育所）

園児 76 名、職員 26 名

- (1) 11月9日（金）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 中部保健所が調査を開始し、11月3日（土）から11月13日（火）にかけて、園児15名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）					計
	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	3	2	0	1	2	8
女	3	1	0	2	1	7
計	6	3	0	3	3	15

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者等7名からサポウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年11月19日	40	0	5	45
平成29年4月1日～ 平成29年11月19日	18 (31)	5 (5)	10 (12)	33 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年11月19日	21 (69)	4 (5)	4 (10)	29 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、アデノウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（北上市内の認定こども園）

園児106名、職員26名

- (1) 11月21日（水）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、10月26日（金）から11月21日（水）にかけて、園児24名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員 20歳代	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		
男	1	6	2	3	1	2	0	15
女	0	1	1	4	2	1	1	10
計	1	7	3	7	3	3	1	25

### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者4名からアデノウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年11月22日	40	0	7	47
平成29年4月1日～ 平成29年11月22日	18 (31)	5 (5)	10 (12)	33 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年11月22日	21 (69)	4 (5)	4 (10)	29 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（奥州市内の認定こども園）

園児91名、職員36名

- (1) 11月30日（金）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、11月26日（月）から12月1日（土）にかけて、園児22名に嘔吐等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児2名を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
男	5	0	5 (1)	3	0	0	13 (1)
女	3	2 (1)	1	1	0	2	9 (1)
計	8	2 (1)	6 (1)	4	0	2	22 (2)

（ ）内は入院患者再掲

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者等10名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年12月4日	41	0	8	49
平成29年4月1日～ 平成29年12月4日	18 (31)	5 (5)	10 (12)	33 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年12月4日	24 (69)	4 (5)	5 (10)	33 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 金ケ崎町内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 106名、職員 27名

##### (2) 有症者の状況等

ア 11月30日（金）に、奥州保健所管内の医療機関から奥州保健所へ、複数名の当該施設園児が嘔吐症状を呈している旨の情報提供あり。

イ 奥州保健所が調査を開始し、11月26日（月）から12月3日（月）にかけて、園児33名、職員2名に嘔吐等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	
男	7	3	4	2	1	3	0	20
女	2	2	4	1	2	2	2	15
計	9	5	8	3	3	5	2	35

##### (3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センター及び医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。

イ 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 2 一関市内の保育所

##### (1) 施設の概要について

園児 73名、職員 27名

##### (2) 有症者の状況等

ア 12月4日（火）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 一関保健所が調査を開始し、11月28日（水）から12月5日（水）にかけて、園児15名、職員5名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）					職員		計
	0-1歳児	1-2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	
男	2	1	1	5	1	0	0	10
女	2	0	1	0	2	4	1	10
計	4	1	2	5	3	4	1	20

##### (3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者等10名からノロウイルスを検出。

イ 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面に続く

### 3 北上市内の保育所

#### (1) 施設の概要について

園児 76 名、職員 26 名

#### (2) 有症者の状況等

ア 12月6日(木)に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 中部保健所が調査を開始し、12月1日(土)から12月7日(金)にかけて、園児14名、職員1名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

#### 【有症者の性別・年齢別構成】

(単位：人)

区分	園児 (クラス別)					職員	計
	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	50歳代	
男	0	1	0	5	2	0	8
女	2	0	0	3	1	1	7
計	2	1	0	8	3	1	15

#### (3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 4 県内の発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年12月10日	44	0	8	52
平成29年4月1日～ 平成29年12月10日	18 (31)	5 (5)	11 (12)	34 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年12月10日	25 (69)	4 (5)	5 (10)	34 (84)

### 5 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（一関市内の認定こども園）

園児198名、職員38名

- (1) 12月14日（金）に、当該施設から一関保健所へ、複数名の園児が嘔吐・下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、一関保健所が調査を開始し、12月5日（水）から12月19日（水）にかけて、園児24名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 入院した園児2名を含め、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）					職員		計
	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	50歳代	60歳代	
男	2	1	6	2 (1)	1	0	0	12 (1)
女	6	2 (1)	2	2	0	1	1	14 (1)
計	8	3 (1)	8	4 (1)	1	1	1	26 (2)

( ) 内は入院患者再掲

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センター及び医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者10名からノロウイルスを検出。
- (2) 一関保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 一関保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成30年4月1日～ 平成30年12月20日	45	0	10	55
平成29年4月1日～ 平成29年12月20日	18 (31)	5 (5)	12 (12)	35 (48)
平成28年4月1日～ 平成28年12月20日	35 (69)	4 (5)	7 (10)	46 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 陸前高田市内の小規模多機能型居宅介護事業所

#### (1) 施設の概要について

利用者22名、職員15名

#### (2) 有症者の状況等

ア 12月20日（木）に、当該施設から大船渡保健所へ、複数名の利用者が嘔吐、下痢等の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、大船渡保健所が調査を開始し、12月12日（水）から12月24日（月）にかけて、利用者9名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	利用者		職員		計
	80歳代	90歳代	20歳代	40歳代	
男	1	1	0	0	2
女	3	4	1	1	9
計	4	5	1	1	11

#### (3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者9名からノロウイルスを検出。

イ 大船渡保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 大船渡保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 2 北上市内の小学校

#### (1) 施設の概要について

児童216名、職員20名

#### (2) 有症者の状況等

ア 12月21日（金）に、北上市教育委員会から中部保健所へ、複数名の当該施設児童が嘔吐・下痢の症状を呈している旨の連絡あり。

イ 同日から、中部保健所が調査を開始し、12月5日（水）から12月24日（月）にかけて、児童30名に嘔吐・下痢等の症状があったことを確認。

ウ 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	児童（学年別）						計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
男	1	4	2	2	6	3	18
女	1	2	0	3	2	4	12
計	2	6	2	5	8	7	30

#### (3) 原因究明の調査等

ア 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。

イ 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。

ウ 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

裏面に続く



### 3 県内の発生の状況

(盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件)

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 12 月 26 日	47	0	10	57
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 12 月 26 日	18 (31)	5 (5)	12 (12)	35 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 12 月 26 日	37 (69)	4 (5)	8 (10)	49 (84)

### 4 ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

### 記

#### 1 施設の概要について（一戸町内の介護老人保健施設）

利用者 95 名、職員 43 名

- (1) 1月25日（金）に、当該施設から二戸保健所へ、複数名の利用者が嘔吐の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 二戸保健所が調査を開始し、1月17日（木）から1月29日（火）にかけて、利用者22名、職員4名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	利用者			職員		計
	70 歳代	80 歳代	90 歳代	40 歳代	50 歳代	
男	0	2	0	1	0	3
女	1	12	7	2	1	23
計	1	14	7	3	1	26

#### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からノロウイルスを検出。
- (2) 二戸保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 二戸保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

#### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 1 月 30 日	49	0	10	59
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 1 月 30 日	21 (31)	5 (5)	12 (12)	38 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 1 月 30 日	59 (69)	4 (5)	9 (10)	72 (84)

#### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（遠野市内の保育所）

園児 101 名、職員 22 名

- (1) 2月21日（木）に、当該施設から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 中部保健所が調査を開始し、2月15日（金）から2月24日（日）にかけて、園児14名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児		
男	5	1	0	1	0	2	0	9
女	2	1	2	0	0	0	0	5
計	7	2	2	1	0	2	0	14

### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者 1 名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 2 月 25 日	55	0	11	66
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 2 月 25 日	25 (31)	5 (5)	12 (12)	42 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 2 月 25 日	66 (69)	4 (5)	10 (10)	80 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（雫石町内の保育所）

園児 96名、職員 27名

- (1) 3月1日（金）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、2月26日（火）から2月28日（木）にかけて、園児11名、職員2名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	30歳代	
男	0	2	4	0	0	1	0	0	7
女	0	1	1	0	2	0	1	1	6
計	0	3	5	0	2	1	1	1	13

### 2 調査結果について

- (1) 医療機関が実施した糞便検査の結果、有症者6名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
平成30年4月1日～ 平成31年3月5日	57	0	11	68
平成29年4月1日～ 平成30年3月5日	26 (31)	5 (5)	12 (12)	43 (48)
平成28年4月1日～ 平成29年3月5日	67 (69)	4 (5)	10 (10)	81 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（雫石町内の保育所）

園児 60名、職員 15名

- (1) 3月4日（月）に、当該施設から県央保健所へ、複数名の園児及び職員が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、県央保健所が調査を開始し、3月1日（金）から3月4日（月）にかけて、園児10名、職員1名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）						職員	計
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	20歳代	
男	0	1	0	1	0	4	0	6
女	0	0	1	1	2	0	1	5
計	0	1	1	2	2	4	1	11

### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者5名からノロウイルスを検出。
- (2) 県央保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 県央保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

### 【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 （サポウイルス等）	合計
平成30年4月1日～ 平成31年3月6日	58	0	11	69
平成29年4月1日～ 平成30年3月6日	26 (31)	5 (5)	12 (12)	43 (48)
平成28年4月1日～ 平成29年3月6日	68 (69)	4 (5)	10 (10)	82 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は85～90℃・90秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内5472】

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ロタウイルス及びノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（花巻市内の幼稚園）

園児 102 名、職員 15 名

- (1) 3月7日（木）に、当該施設の保護者から中部保健所へ、複数名の園児が嘔吐、下痢の症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、中部保健所が調査を開始し、2月27日（水）から3月11日（月）にかけて、園児20名に嘔吐、下痢等の症状があったことを確認。
- (3) 園児1名が入院したが、既に退院し、有症者は回復傾向にあり。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				計
	4歳児①	4歳児②	5歳児①	5歳児②	
男	0	3	1	7	11
女	0	3	2 (1)	4	9 (1)
計	0	6	3 (1)	11	20 (1)

( ) 内は入院患者再掲

### 2 調査結果について

- (1) 医療機関及び環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者3名からロタウイルス、有症者1名からノロウイルスを検出。
- (2) 中部保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 中部保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、( )内は年度累計、単位：件）

区 分	ノロ ウイルス	ロタ ウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 11 日	59	0	12	71
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 11 日	27 (31)	5 (5)	12 (12)	44 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 11 日	69 (69)	4 (5)	10 (10)	83 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

## 感染性胃腸炎の集団発生について

このことについて、次のとおり、ノロウイルスによる「感染性胃腸炎」の集団発生がありましたので、県民への注意喚起のためお知らせします。

記

### 1 施設の概要について（奥州市内の保育所）

園児 47 名、職員 17 名

- (1) 3月15日（金）に、当該施設から奥州保健所へ、複数名の園児が嘔吐症状を呈している旨の連絡あり。
- (2) 同日から、奥州保健所が調査を開始し、3月10日（日）から3月18日（月）にかけて、園児17名、職員2名に嘔吐等の症状があったことを確認。
- (3) 有症者は回復傾向にあり、重症者はなし。

【有症者の性別・年齢別構成】

（単位：人）

区分	園児（クラス別）				職員		計
	0歳児	1歳児	2歳児	3～5歳児	30歳代	40歳代	
男	4	0	2	0	0	0	6
女	1	2	2	6	1	1	13
計	5	2	4	6	1	1	19

### 2 調査結果について

- (1) 環境保健研究センターが実施した糞便検査の結果、有症者2名からノロウイルスを検出。
- (2) 奥州保健所が実施した調査結果から、施設の食事を原因とする食中毒は否定。
- (3) 奥州保健所は、当該施設に対し消毒方法等の二次感染対策について指導。

【県内の発生の状況】

（盛岡市分を含む、（ ）内は年度累計、単位：件）

区分	ノロウイルス	ロタウイルス	その他 (サポウイルス等)	合計
平成 30 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 26 日	61	0	12	73
平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 26 日	30 (31)	5 (5)	12 (12)	47 (48)
平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 3 月 26 日	69 (69)	4 (5)	10 (10)	83 (84)

### ・ウイルス性胃腸炎の予防方法

- ① 用便後、調理前、食事前には、石けんで十分な手洗いを行う。
- ② 食事を調理する場合、加熱が必要な食品は 85～90℃・90 秒間以上で十分に加熱する。
- ③ 嘔吐した場合は、部屋の換気を十分に行ないながら、なるべくマスクやビニール手袋等を用いて片付け、嘔吐した場所や使用した用具を塩素系漂白剤で消毒する。
- ④ 嘔吐、下痢等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診する。

【担当 感染症担当 小野・東 内 5472】